麗澤中学・高等学校
Reitaku Junior and Senior High School

News Release

報道関係者各位

2026 年 11 月 17 日

深煎り＆浅煎り「フェアトレードコーヒードリップバッグ第八弾」完成
パッケージデザインに他校の高校生の作品を初採用
生徒が作成したオンラインショップで販売中！

麗澤中学・高等学校（千葉県柏市／校長：櫻井　譲）の SDGs 研究会「EARTH」が、東ティモールを支援する「フェアトレードコーヒー活動」でシリーズ第八弾となるドリップバッグを完成させました。

今回の第八弾では、学校の枠を越えた新たな取り組みとして、他校の高校生が制作したパッケージデザインを初めて採用しました。千葉県立柏陵高等学校と千葉県立松戸国際高等学校から提供されたデザインをそれぞれ採用したほか、本校の全校生徒から公募した作品２種類、さらに昨年に引き続き、ワールドチルドレン芸術祭の協力のもと、東ティモールの子どもたちが描いた作品１種類を採用し、計５種類のパッケージが完成しました。

この取り組みを通じて、今まで意識してきたトレーサビリティを可視化するだけでなく、学校の枠を越えてフェアトレードへの関心を広げることを目指しています。さらに、東ティモールの子どもたちの作品を通じて、消費者が生産地をより身近に感じ、一人ひとりの消費行動を変えていくきっかけになると考えています。

コーヒー豆の焙煎は、これまでに引き続き、柏市の「自家焙煎珈琲　茶珈香（代表：工藤貴正）」に依頼し、好みに合わせて楽しめる「深煎り」と「浅煎り」の２種類を用意しました。また、ドリップバッグの袋詰め作業についても、障害のある方の就労支援につなげるため、柏市にある社会福祉法人ワーナーホーム（柏拠点統括施設長：大久夏樹）に委託しています。障害の有無にかかわらず、誰もが働きやすい社会の実現に貢献したいという生徒たちの思いから、継続して取り組んでいるものです。

完成した第八弾のドリップバッグは、生徒たちが制作したオンラインショップで販売しています。これまでのドリップバッグの販売数は、シリーズ累計 12,000 個を突破しました。SDGs 研究会では今後もフェアトレードを推進する活動で、単に生産者と消費者を一方通行でつなぐだけではなく、商品にかかわるすべての人々の想いをのせて商品をお届けし、消費者からの感想や評価を適切に生産者へフィードバックできるよう努めてまいります。



【フェアトレードコーヒードリップバッグ第八弾　概要】
■製　造　所：社会福祉法人ワーナーホーム　ペジーブル高田
千葉県柏市高田 184 すくすくハウス内
（https://sukusukuhouse.net/）
■生豆生産国：東ティモール
■焙　　煎：自家焙煎珈琲　茶珈香
千葉県柏市富里 1-1-2
（https://www.chakaka.net/index.html）
■販売サイト：生徒作成サイトのオンラインショップ
（https://rjshsdb.thebase.in/）